

組合員だけの特典  
顧問弁護士 城塚先生の  
**無料法律相談**  
府職労までお電話ください  
☎ 06-6941-3079

# 府職の友

FUSYOKU NO TOMO

2073号 2018年3月7日

発行所/大阪府関係職員労働組合  
〒540-0008 大阪市中央区大手前2-1-59  
電話 06(6941)0351・内線3740  
直通06(6941)3079 FAX06(6941)4541  
Eメール info@fusyokuro.gr.jp  
URL/http://www.fusyokuro.gr.jp  
発行人/有田 洋明 編集人/小松 康則  
(一部10円)組合員の購読料は組合費に含まれています。

# ニセモノの「働き方改革」は許せない!

## みんなの力で働きやすい職場を!

### 2018国民春闘「学習と交流のつどい」を開催

1月26日(金)〜27日(土)、府職労は「2018国民春闘」学習と交流のつどい」をホテルセイリュウ(東大阪市)で開催しました。大阪府と府立病院、研究所の各職場から97人が参加しました。参加者の約半数が女性で、30歳代以下が3割を超える元気なつどいになりました。

### 職場に労働組合がある 大切さを再確認

つどいの1日目は、元新聞労連委員長で、現在は毎日新聞新潟支局長を務める東海林智さんを講師に招き、「安倍政権の進める「働き方改革」の問題点(高度プロフェッショナル制度や裁量労働制)について学びました。また、不払い・サービス残業や慢性的な長時間労働など、職場のいろんな問題をチェックするためにも、



講演する東海林さん

### 講演を聞いた参加者の感想

## 人間らしく生きることを あきらめてはいけない

●派遣の実態を聞いて悲しくなりました。知らないことばかりでしたが、また参加したいと思う。  
●労働者の尊厳を守るのには労働組合だと思った。現場を見ることの大切さを実感した。  
●大阪府に府職労があることが誇りだと思った。  
●プライベート・タイムン

●働くこととは何か、人間らしい働き方とは何かを考えさせられる良い時間になった。今ある働く環境が当たり前でないこと

●労働組合をつくるのはなぜか、人間だから、これがよく分かった。  
●本当にたたくことは勇気がいる。でも人間らしく生きることをあきらめてはいけないと思った。  
●実際に現場の人の声を聴いている人の話だったので、重みが違うと思っ

た。正直、辛くて聞いていられない場面もあった。私も仕事で似たような場面に出会うこともあり、余計に辛い。ヒーローが解決してくればよいのに、何度も思った。でも、解決できないことを知っている。だから組合活動をやることはできないとあきらめて思っ

た。●「働き方改革」の本質がわかりやすく勉強になった。話を聞いて心が熱くなった。涙が出そうになり腹が立ちました。時代はどんどん進んでいるのに、憲法や労働法や働き方は後退していくのは理解できない。  
●労働者は守られていないと実感した。長時間労働は私たちがからごんなにたくさんものを奪っていくのでしょいか。このままではダメだ。さらに一層、労働組合の活動を続けていきたいと強く心に思い直すことができた。



これからずっと安心して働きたい  
要求実現をめざす学習と交流のつどい  
2018.1.26~27日

(2面へつづく)

### 遊歩道

趣味のゴルフを、年を重ねても続けられるように初めてレッスンを受講した。最新のレッスンは、映像や計測データを取り入れたもので頑固な私も納得でき練習するヒントを得た。YouTubeを覗くとゴルフのレッスン動画が沢山アップされ理論百出で面白い。トラックマンと呼ばれる弾道測定器やハイスピードカメラなどが普及し、感覚的なものが映像やデータで把握でき活かされているようだ。しかし、映像やデータが間違っていたら結果もでないし、信用されない。データ偽装が製鉄会社で問題となったが、国会では政府がね

つ造したデータを根拠に労働者の「働かせ放題」の労働法制改善が狙われている。労働者一人あたりの年平均労働時間の国際比較では、ドイツが約1400時間、アメリカやイギリスが約1800時間、日本は2319時間というデータがある。この間、許せない過労死・過労自殺が繰り返され、8時間働いてもまともに暮らせない低賃金の現実が広がっている。過労死家族の会が切実な思いを国会に届けるなど運動も広がっている。日本の異常な働かせ方を野放しにする労働法制改善は許してはいけない。(3)